

# 令和4年度決算報告

令和4年度に、市にどのくらいのお金が入ってきて、そのお金を何に使ったのかを一緒に見ていきましょう。(金額は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります)

自治体の決算は一般会計と特別・企業会計に分かれています。



## 歳入用語

●市税  
個人住民税、法人市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税などのこと。

## ●国庫支出金

地方自治体の特定の事業に対して国から交付される、使いが指定されているお金。

# 資金の足跡をたどる！

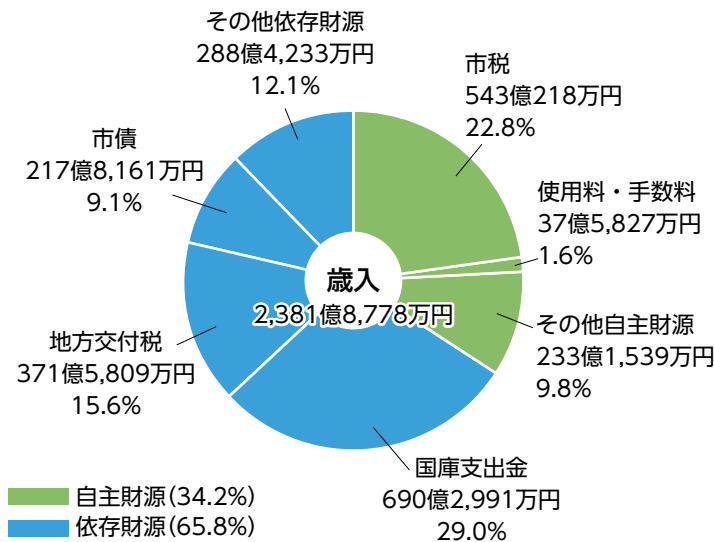
## 一般会計

市が行う仕事の中心になる会計。一般会計に入ったお金(歳入)は約2,382億円、使ったお金(歳出)は約2,304億円で、差し引き額(形式収支)は約78億円の赤字でした。

## 歳入

### 長崎市の一年間での全収入

市税収入などの自主財源が少なく、国から交付される国庫支出金、地方交付税の割合が高い。



## 企業会計

それぞれの事業の収益(使用料など)で支出をまかなう独立採算が原則の会計。

## 特別会計

特定の収入(保険料や使用料など)で、その事業の支出をまかなう会計。

会計	区分	決算額
水道事業	収益的	収入 111億1,249万円
		支出 98億7,449万円
	資本的	収入 9億4,963万円
		支出 61億5,910万円
下水道事業	収益的	収入 125億5,226万円
		支出 112億5,583万円
	資本的	収入 55億79万円
		支出 98億4,674万円

収益的収入・支出…企業の経営活動により発生する収益と、それに対応する費用

資本的収入・支出…企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良費や企業債償還金などの支出とその財源となる収入

会計	収入済額	支出済額
観光施設事業	3億9,755万円	3億9,755万円
国民健康保険事業	542億1,544万円	539億227万円
土地取得	23億4,276万円	16億6,512万円
中央卸売市場事業	2億3,021万円	2億3,021万円
駐車場事業	2億2,074万円	2億2,074万円
財産区	2,846万円	2,846万円
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	2億66万円	1億3,566万円
介護保険事業	478億3,776万円	465億3,524万円
生活排水事業	5億1,281万円	5億1,281万円
診療所事業	3億5,493万円	3億5,493万円
後期高齢者医療事業	61億6,316万円	61億3,429万円
長崎市立病院機構病院事業債管理	13億2,486万円	13億2,486万円
合計	1,138億2,935万円	1,114億4,215万円
前年度比	0.8%増	0.3%増



829・1126 財政課

● **地方交付税**

財源が足りない自治体に国が国税の一部を再配分するもの。自治体が自由に使えるお金。

● **市債**

市が公共施設の整備などの建設事業を行う時に、必要な資金を国や金融機関などから調達する借入金のこと。

**歳出用語**

● **人件費**

市の職員の給与や議員、審議会の委員への報酬などの費用。

● **公債費**

過去に借り入れた市債(借金)の返済費用。

● **投資的経費**

学校、道路、公園など公共施設の整備などの費用。国・県からの補助金や、市債を借り入れたりすることで財源を確保している。

● **物件費**

委託料、消耗品や備品など、事業の実施に要する費用。

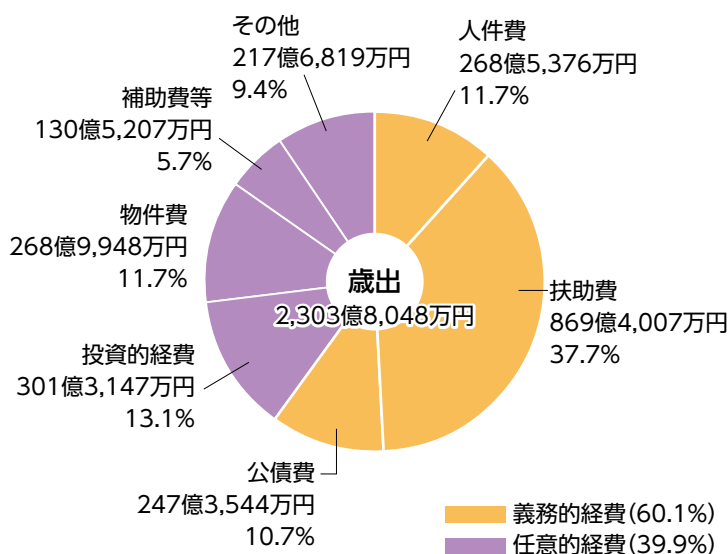
● **補助費等**

市内の団体などに対する負担金や補助金などの費用。講師謝礼金や保険料などもここに含まれる。

# 歳出

## 長崎市の一年間での全支出

扶助費（被爆者や子ども、高齢者、障害者福祉などの経費）の割合が高い。



**実質収支**  
 実質収支とは歳入と歳出の差額から、翌年度に繰り越すべき財源を引いた収支のことです。68億円の黒字です。基金の積み立てなど今後の財政運営に役立てます。

ふむふむ～人口で割ってみると、市民1人あたりの歳入は約60万円、歳出は約58万円なんだね。

広報ながさきキャラクター コーホーさん

# 今年度の上半期(4～9月)の財政状況

※ 9月末時点

### 一般会計

歳入	予算額	収入済額	収入率
	2,361億6,268万円	983億8,001万円	41.7%
歳出	予算額	支出済額	執行率
	2,361億6,268万円	879億8,359万円	37.3%

### 特別会計 (国民健康保険事業、介護保険事業など12会計)

予算額	収入済額	支出済額
1,159億9,753万円	465億3,551万円	453億4,424万円

### 企業会計

会計	区分	予算額	執行済額	
水道事業	収益的	収入	110億4,562万円	53億5,099万円
		支出	100億3,489万円	39億2,537万円
	資本的	収入	11億4,790万円	7,665万円
		支出	79億1,230万円	8億7,029万円
下水道事業	収益的	収入	128億3,276万円	63億4,391万円
		支出	131億1,934万円	47億1,337万円
	資本的	収入	74億1,383万円	12億5,195万円
		支出	109億7,168万円	41億6,939万円

一時借入金  
1億4,137万円

市の財産  
6,960億9,055万円

市債 (一般・特別・企業会計の合計)  
3,452億5,737万円

長崎市のやりくりは  
どうなっているかな～



# 令和4年度の

# 基金・市債の状況



## 基金 (貯金)

基金は、財政運営や特定の目的のための資金・財産です。令和4年度末の残高は約428億円です。

## 市債 (借金)

令和4年度末の残高は約2,721億円で、そのうち国からの支援約1,395億円を除いた実質的な市債残高は約1,326億円です。

## 一時借入金

一会計年度内での収入と支出の一時的な不均衡を解消するための借入金です。令和4年度の最高借入額は142億8,332万円です。

## 未収金

令和4年度は、差押えなどの強制徴収を含めた納付指導や、キャッシュレス決済など支払方法の多様化を進めたことなどにより、前年度と比較して未収金が減少しました。

収入種別	金額
市税	12億 2,766万円
国民健康保険税	16億 8,447万円
介護保険料	1億 2,931万円
後期高齢者医療保険料	3,849万円
保育料	3,247万円
市営住宅家賃	1億 2,217万円
その他	8億 7,182万円
合計	41億 639万円 (前年度比3.7%減)

## 市の財産

種別	金額
土地	2,510億 6,142万円
建物	3,065億 5,215万円
工作物	1,146億 9,847万円
その他	237億 7,851万円
合計	6,960億 9,055万円

令和4年度に長崎市債権管理条例を施行し、全庁をあげて適正な債権管理に取り組んでいます。

詳しくはこちら▶

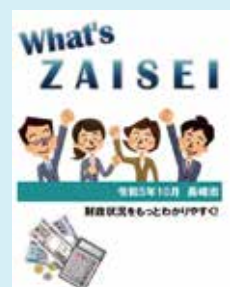


新しくなった市役所をはじめ、消防署、学校、公民館や公園など、長崎市が保有する財産のことです。

## What's ZAISEIでさらに詳しく解説！

長崎市の財政の状況を Q&A 形式で分かりやすくまとめた冊子です。今回の特集で説明できなかった財政のポイントもたくさんありますよ！

こちらからチェック▶





# 令和4年度の主な取り組み

市がめざす将来の都市像「個性輝く世界都市」「希望あふれる人間都市」の実現に向けて取り組みました。ここでは主なものを紹介します。

## 長崎を活気付けるにぎわいづくり

5億6,598万円

あぐりドーム開設や子どもの遊び場の整備、起業を目指す人材の発掘・育成の支援など人口減少克服・長崎創生に向けて取り組みました。



## 遠藤周作生誕100年記念事業

1,771万円



遠藤周作の功績と遠藤文学の魅力を広く伝え、次世代につなげるため、特別企画展の開催や公式ガイドブックの発行などを行いました。

## 新幹線開業に向けた取り組み

7,392万円



長崎駅開札口のすぐ横に九州最大規模の観光案内所を整備しました。宿泊の予約も含め、多言語に対応できるサービスを提供しています。

## 被爆100年に向けた取り組み

2,446万円

被爆地として被爆の実相や平和の尊さを伝え続けるために、被爆資料の追加調査や、日常に平和の文化を根付かせる平和の文化醸成事業に取り組みました。

## ゼロカーボンシティ推進

2億1,485万円

電気自動車の急速充電設備の整備などを実施。また、市庁舎へ100%再生可能エネルギーの供給を開始しました。

## デジタル化でもっと暮らしやすく

3億162万円

パソコンを活用した家庭学習の推進や、行政手続きのオンライン化、民間保育所のICT化の推進に取り組みました。

## コロナ禍からの社会・経済の復興

21億4,972万円

検査センターの運営、PCR検査費用や陽性者の医療費の負担などをしました。また、コロナ禍の影響を受けた芸術文化活動の再開を支援しました。